

DRAFT
(修正なし)

「これってどういう意味？—あいづちって何？」【台本】(1人Ver.)

収録日: 2025/●/● 収録場所: ●●

公開日: 2025/●/●

パーソナリティ: ○○先生 (拠点:)

✓ 想定するリスナー層: 日本語学習者・生活者

- リスナーの疑問 : これって、どういう意味？
- ラジオ番組の効果①: リスナーの日常の疑問が解決
- ラジオ番組の効果②: 日本語のリスニング能力の向上
- リスナーのメリット: 日本での生活がより快適になる

✓ 本番組の構成

- オープニング: 番組紹介 & BGM(1分)
- 本日のテーマ: 「あいづちって何？」(●分)
- メイン: 「日本人はあいづちが多すぎ？」(●分)
- エンディング: 出演の感謝 & 締め言葉(1分)

以下、本番組のタイムテーブルです。

本番組のタイムテーブル

TIME	FLOW(全体の尺: ●分)
00:00	■ オープニング: 番組紹介 & BGM(1分)

□ 番組紹介 ※イントロは毎回同じことを言う。

M: みなさん、こんにちは！お元気ですか。

今日も「これって、どういう意味？」が始まりました。

この番組ではテキストには書いていない、レッスンでは出てこない、でもネイティブが毎日普通に使っている日本語をお届けします。

・本日のテーマ：あいづちって何？（●分）

M: 皆さんは「あいづち」という言葉を聞いたことがありますか。←必ず質問から入る

「あいづち」というのはもともと、刀（=sword）を作るとき、親方（=Boss）と弟子（=apprentice）が交代でハンマーで刀を叩くことを言いました。これは強い刀を作るために必要なとても大事なアクションで、親方と弟子が熱い刀を二人の間に置いて、向かい合ってテンポよく交代で「あいづち」を入れることを「あいづちを打つ」と言っていました。

このようすから、誰かと話すときテンポよく相手に対して言う言葉を「あいづち」と言い、そのリアクションのことを「あいづちを打つ」と言うようになりました。

—今日は「日本人のあいづち」を紹介します。

・メイン：日本人はあいづちが多すぎ？（●分）

M: では皆さん、もう一つ質問です。

—皆さんは日本人同士が話しているのを聞いたことがありますか。それか、日本の

テレビを見たことがありますか。その会話を聞いてどう思いましたか。

そしてもう一つ質問です。

—皆さんは日本人と話したことがありますか。会話をしていて何か気になることは

ありますか。

よく外国の人が日本人と話すとき、日本人の「あいづち」がとても気になると言わ

れています。自分が話をしている途中で、日本人が自分に対して話の途中で言葉を

言うのが少し変に感じることもあるようです。

そしてさらにその「あいづち」の多さもとても不快で、「自分の話をちゃんと聞
ていないのではないか？」と思わせてしまうんだそうです。

このラジオを聞いている皆さんも同じように思ったことがありますか。

でもこれは私たち日本人にとっては全く逆で、人の話を聞くとときに何も言わずに

っているのはとても失礼なことで、相手に「自分の話を聞いていないのではない

か」、「自分の話が面白くないのではないか」と思わせてしまわないために「あ

づち」を打っているんです。

い

 \mathbb{F}

ケ一

つまり、私たち日本人にとって「あいづち」は「ちゃんとあなたの話を聞いていますよ」「あなたの話は面白いですよ」というサインで、とても大事なコミュニケーションツールなのです。

を

では次は日本人のあいづちがどんなものなのか、いくつか紹介しましょう。

二人の人が会話をするとき、話している人が「話し手（＝speaker）」そして話聞いている人が「聞き手（＝listener）」になります。

聞き手は話し手が何かを言うたびに「なるほど」「えー！」「すごい」「そうなんですか」「本当に？」「そうなんですね」「あー、そうだよね」「確かに！」などのように、必ずひとこと何か「あいづち」を入れます。

う

言

「あいづちを入れる」ことで「私はあなたの話をちゃんと聞いていますよ」という意味になり、話し手は「この人は私の話をちゃんと聞いてくれている」「自分のことがきちんと伝わっている」と思うのです。

日本人同士の会話では、「あいづち打つ」ことでコミュニケーションがスムーズなるのです。

に

い
不
た
に

逆に聞き手が何もリアクションしてくれないと、「この人は私の話を聞いていない」とか「私の話がきちんと伝わっていないのかな」と思ってしまい、話し手は不快に思ったり、不安になってしまったりしてしまうのです。

このように日本人は話し手の話を邪魔するつもりはまったくなく、ちゃんとあなたの会話に参加していますよ、楽しく聞いていますよ、というサインを送るために「あいづち」を打っているんです

■エンディングトーク：本日のまとめ& 締め言葉（1分）

今日ご紹介した「あいづちって何？」はいかがでしたでしょうか。
文化が違くと会話の進め方が違ったり、リアクションのタイミングが違ったりしてとても面白かったですね。今度日本でテレビを見たり、街で日本人同士が会話をしているのを見かけたら、そのやり取りを聞いてみてください。きっと「あいづち」の多さにとても驚くと思います。そして日本人と話す時は「あなたの話を聞いていますよ。」「あなたの話はとても面白いですよ」という気持ちを表すために日本語で「あいづち」を打ってみてください。いつもの会話がもっと日本人らしくなって、きっととても楽しいおしゃべりができますよ！

（※今回はフレーズが無いので最後の復習タイムも無し。）

M：最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。（←必ずお礼と締めを入れる）

それでは、次回もどうぞお楽しみに！また聞いてくださいね！さようなら～。